



上荻野・ミツマタ桃源郷  
(撮影：小林会員)

令和5年4月号 Vol. 228  
(2023年)

発行：令和5年4月7日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 澤田 正弘

## ＜奥七沢パワースポットと神秘の里＞

行事区分：企画ガイド（ハイキング）

日 時：2月25日（土） 9：30～15：00

場 所：県立自然環境保全センター～伊勢原浄水場～日向神社（白髯神社）～日向薬師～亀石

参加者：一般31名、会員10名

早い方は待ちきれなくて9時15分頃には既に七沢観光案内所に到着。直接来られた方やバスでこられた方で受付に行列ができました。10時には保全センター入り口の空き地に集合して、朝礼と準備体操の後1班（16名）、2班（15名）に分かれ、5分の時間差で県立自然環境保全センターへ出発しました。

保全センターではカヤの実・イヌガヤの実などを手に取って、その違いや食べられるカヤの実について説明を聞きました。直ぐ近くのテータ松の根元で黒松の2倍ほど大きな松笠を手に取って他の松との違いを実感、松葉が3本になっていることも改めて手に取って確認しました。

伊勢原浄水場では神奈川県の水道水がどのように各家庭に配水されるのかを詳しく説明を受けました。

少し歩いて日向薬師参道の入り口で、源頼朝・政子の参詣の経過や衣裳場の案内文等について詳細な説明がありました。急な階段を上って仁王門では仁王像（阿吽）の作者や役割

について説明を受け参道を登りました。群生しているナガバナカナワラビや、この地区では珍しいイズセンリョウ（ヤブコウジ科）、ケヤキの老木を眺め、足元の玉ねぎ石を踏みしめてようやく、日向薬師の境内に到着しました。日本三大薬師である日向薬師・パワースポットである宝城坊の二本杉・虚空蔵菩薩の説明などを受け、その後各自で日向薬師本堂のお参りをしました。

昼食時にはすっかり曇天になり、吹く風も冷たく感じられるようになっていました。変わりやすい



亀石（パワーストーン）

天気にびっくり、リーダーの判断で安全面を考慮して、予定を急遽変更。日向山には登らないで薬師林道を経由して亀石に向かうことになりました。

亀石に到着しパワースポットと言われる所以（ゼロ磁場）を聞き、石の転がり防止？の多数の木の棒が「受験生の滑り止め」ではないかという新説に参加者は聞き入っていました。約三分の一の参加者が亀石の上に登って、なかなか降りてきませんでした。最後に亀石の前で集合写真を撮りました。出発点の七沢観光案内所に無事到着し、参加者全員椅子に座って一人ずつ感想を述べていただきました。日向山には登れませんでした概ね満足したという感想でした。ただ歩くだけでなく、道々いろいろな話を聞くことができ楽しかったという声が多かったです。 (横山 記)

### ＜厚木の巡礼道（妻田薬師から飯山弘徳寺）を辿る＞

行事区分：企画ガイド（歴史探訪）

日 時：3月4日（土） 9：30～12：30

場 所：妻田薬師～山ノ上古墳～及川球技場～八幡神社～十二神社～千光寺～弘徳寺

参 加 者：一般22名、会員11名

春の淡い青空に刷毛で刷いたようなやわらかな雲の浮かぶ3月4日。江戸時代に六十六部衆を達成した飯山在の安在金左衛門により寄進された、6体のお地蔵さまが道しるべとなる下依知から飯山へ至る巡礼道のうち、妻田薬師から千頭・弘徳寺までのガイドが行われました。

このガイドは昨年10月、妻田薬師の12年ぶりの半開帳に合わせて実施の予定でしたが雨天により中止、改めて開催する運びとなり、最年少8歳のお子さんを含む22名のお客さまとガイド11名で賑やかにスタート致しました。

市内で最も多くの文化財を保有する妻田薬師、山ノ上古墳から八幡神社、十二神社に富士塚と千光寺、そして最終地点の弘徳寺へ。またこういった見所の他にも厚木の古道や道々の草花、道沿いに立つお地蔵さまと風雨に弱い七沢石の特徴、そして会員による「正しい神社の礼拝の仕方」など、様々な情報をお伝えしつつ賑やかにガイドが進みます。

どこにおいても皆さま、ガイドの話に熱心に耳を傾けて下さり、頷きながらメモを取られたり、積極的にご質問を頂いたりするご様子に、ガイドの側も力が入ります。また弘徳寺ではご本堂の拝観が叶い、とても貴重な経験をさせていただきました。

帰り際、お客さまから「また機会を見つけて是非参加します」というお声の他「お昼を挟むともっと皆さんと仲良くなれると思うので、そういったコースを是非作ってほしい」とのご意見もいただき、今後の歴史探訪のコース作りの参考にさせて頂けたらと思われました。 (毛利 記)



妻田薬師（全員朝礼）

## 《七沢広沢寺前駐車場前での案内》

行事区分：行事支援

日 時：3月18（土）8:00～10:00

3月19日（日）8:00～14:00

3月21日（火・春分の日）8:00～14:00

場 所：七沢広沢寺前駐車場（七沢観光協会駐車場）

### 18日（土）

朝から雨天。会員3名で車の中から、様子見となりました。今年もまあよく可愛らしく咲いたミツマタでしたが、冷たい雨の一日となり8:00～10:00のみの案内となりました。この間、団体のお客さま21名が三峰山へ向かわれた他は、さすがにお客様の姿は殆どありませんでした。



### 19日（日）

朝から晴天。すでに6時頃から駐車場に入りはじめ、7時には上下とも満車になりました。今回は七沢荘と七福神神社、和みの丘の臨時駐車場を用意していたので、そちらの説明、誘導がまず最初でした。臨時駐車場は看板、案内図、人も配置しており、万全の受け入れ体制でお客様をお迎えしました。

ミツマタは有名になりました！初めての人、何度も来ている人、市外、県外の方と嬉しい限りです。初めての方のわくわく感はこちらにも感じられ、説明に熱が入ります。ミツマタの写真を見せ、途中の山の神トンネル、群生地、周遊コース、不動の滝の様子など皆さん、熱心に聞いて、元気よくスタートしていきました。「いってらっしゃーい！足元にも春の草花が咲いていますよ～」自然と会員もお見送りの言葉も出てきます。

10時過ぎには落ち着き、一段落。それでも、臨時駐車場もほぼ満車状態でした。女性会員の細やかな配慮で、トイレの状態も常に清潔で、会場付近のトイレもお客様から要望はありませんでした。昼頃は「ますや」さんへのお客様が中心となりましたが、駐車場提供もあり、落ち着いていました。

### 21日（火・春分の日）

今日はお彼岸とWBCの準決勝。観光協会主催の森林セラピー体験もあります。去年はやや混乱がありましたが、今年はセラピーの集合場所を七福神神社としたので、全く問題ありませんでした。臨時駐車場の空き具合を逐次会員同士で連絡、案内もスムーズ、会員による自転車による案内や、臨時駐車場となった七沢荘への案内配置もありと万全でした。

さらに、七沢里山ネットの方、ますやさん、近隣の方から駐車スペースの提供を申し出て頂きました。近隣の方のミツマタのイベントに対するこれほど、協力的な雰囲気は初めてではないでしょうか。自宅で栽培している夏ミカンをセラピーのお客様、我々会員までも差し入れがあり、お祭りの様な雰囲気でした。実際、会員も入込みの調査より、お客様にミツマタ、大山、鐘ヶ嶽への行き方、パンフレット配布、日帰り温泉、食事処の案内、かつてないほどの質問に答え、日頃の会員の知識を披露できたと思います。それでも、戻

ってきた方から写真を見せられ「この花は?」「誰がいつ、植えたのですか?」「どうやって増える?」「この部分はどうなる?」「ミツマタをデザインした小物はどう?」たじたじです。申し訳ございません。もっとミツマタ、草花を勉強して来年に備えます。

ミツマタの情宣は市内のみならず、市外、県外へも浸透してきたと思われます。自動車のナンバーは神奈川、東京以外に習志野・富士山・市原・土浦・山梨・春日部・静岡・船



橋・沼津・伊豆・柏・大宮・野田・川越・名古屋・栃木・袖ヶ浦と様々でした。マイクロバスの観光客はミツマタと大山ハイクのお客様、お彼岸のため、広沢寺へもお参りも多く、広沢寺着の路線バスも満員でした。

これほど、盛り上がり、楽しそうな雰囲気のできたのも、事前に観光協会との打合せ、近隣の方の協力、資料の準備、役割分担も明確にして、受け入れ体制が万全であったからではないでしょうか!ミツマタへの市内外のお

お客様の関心は益々高くなっており、観光資源として魅力的です。近隣地元の方の理解、協力も得られ、周辺の観光案内のきっかけともなる素晴らしい場所、イベントであることを実感した日々でした。一層、厚木観光の代名詞になると言っても過言ではないでしょう!「また、来年もきますよ!」と言われたお客様が多くいらっしゃったのは嬉しい事です。  
(石川 記)

### <八菅山・鳶尾山 春の低山ハイキング>

行事区分：企画ガイド（ハイキング）

日 時：3月29日（水） 9：30～15：00

ル ー ト：荻野公民館上荻野分館→歌川国経墓→田尻道祖神→八菅山（昼食）→八菅神社→鳶尾山→日清戦争追悼碑→小鳶尾展望台→金比羅社→天覧所碑→鳶尾団地

参加者：一般20名、会員10名

心配した菜種梅雨が途切れ、今日はお花見ハイキングです。かつて多くの文化人が住み着いた荻野の地からの出発です。田尻集落の道祖神に見送られ中津川カントリークラブの中、満開の桜トンネルの道を上ります。足元には色々な種類のスミレやキランソウの紫が広がっている



のを見ながら、八菅山を目指して歩いて行くと相州アルプスの山々の展望が開けます。いずれも八菅山同様修験の場所で、山々にはそれにまつわる名前がついています。明るい丘陵八菅山いこいの森は修験ゆかりの古跡が点在する修験道でもあります。

スタジイ常緑高木林、ヤブコウジ常緑低木林に守られた八菅神社、修業道場を後にし、鳶尾山へ進みます。鳶尾山への道には春の野草がかわいらしく咲いていました。ニリンソウ、ヤマドリソウ、ジュウニヒトエ等々を見つけながら楽しく歩きます。鳶尾山に到着。山頂は散り桜でしたが、ここには日本最古の山の三角点が設置されています。次にここを

西の基準点とし、南の湘南平の浅間山三角点、丹沢山、鹿野山三角点と三角測量の基準点  
ができ地形図が作られたのだと、明治の壮大な事業を思いながら浅間山を探しました。

小鷲尾展望台では360度の展望を満喫し下山。

お客様もスタッフも満開の桜の里山の景色に笑顔になり、低山ながら歴史あり、多種多  
彩な花あり、眺望ありのハイキングを楽しみました。三角点に興味をもたれた方もあり、次  
回の湘南平にも繋がるハイキングとなりました。 (菅谷 記)

### 今回のハイキング途中に咲いていたお花たち

(撮影：毛利会員)



ニリンソウ



クサボケ



ヒトリシズカ



ヤマドリソウ



サクラ



ミツバツチグリ

## 最近の活動

日付	場所	内容	参加者
3月 11日	アミューあつぎ	定例会	会員 22名
3月 18日	広沢寺前駐車場	七沢広沢寺前駐車場での案内(1)	会員 3名
3月 19日	広沢寺前駐車場	七沢広沢寺前駐車場での案内(2)	会員 5名
3月 21日	広沢寺前駐車場	七沢広沢寺前駐車場での案内(3)	会員 6名
3月 22日	八菅山・鳶尾山	下見 企画ガイド 「八菅山・鳶尾山低山ハイキング」	会員 9名
3月 29日	八菅山・鳶尾山	企画ガイド 「八菅山・鳶尾山低山ハイキング」	会員 10名
4月 2日	相川公民館	編集会議	会員 3名

### 編集後記

八菅山・鳶尾山低山ハイキングが無事に開催されました。前日まで雨天が続いていましたが、当日は快晴となり桜も満開でした。参加者と和やかな雰囲気でもルートを進む道端に、色々な花が咲いていました。一部ですが5ページに写真を掲載しました。2023年度も多くの企画ガイドが予定されています。参加者もガイドする私達も楽しめるような活動にしていきたいと思います。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘